



平成 27 年 6 月 22 日

## 物流連第 2 回目の「海外物流戦略ワーキングチーム」にて、ジェトロの 担当者による「メコン地域の通関・物流事情」の説明を受ける。

(一社) 日本物流団体連合会 (物流連) は、平成 27 年 6 月 17 日 (水)、物流事業の海外進出に関する課題について、官民連携して検討する本年度第二回目の「海外物流戦略ワーキングチーム」を、千代田区霞が関の尚友会館ビルで開催した。今回は、国土交通省の勝山国際物流課長を始めとする幹部や、会員企業他 26 人が参加した。

会議では、まず日本貿易振興機構 (ジェトロ) の海外調査部アジア大洋州課より、「メコン地域の通関・物流事情」について説明があり、メコン地域 (カンボジア、タイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス) における物流課題として、越境物流、非居住者在庫制度、コールドチェーンが示され、課題解決に向けて政策提言を各関係機関を通じメコン各国政府に働きかけたいとの考えが示された。

次に、国土交通省国際物流課勝山課長より、国際物流をテーマとして開催された、第 6 回物流政策アドバイザー会議の概要が説明された。また、今年度も計画されているアセアン関係国政府との物流政策対話の進め方について、方針が説明された。

次に、グリーン物流パートナーシップに関し、株式会社日立物流バンテックフォワードイングから「グローバル 3PL 事例」として、中国からの輸入改善事例が披露された。また、国土交通省物流政策課企画室より、今年度の優良事例の募集については、CO<sub>2</sub> 排出量削減の事例に加えて、その他の環境負荷低減など物流の持続可能性において優れた事例も対象としたいとの説明が行われた。

本ワーキングチームの活動は、今年度も、物流連の重要な業務と位置づけて、適宜、現地情報や実務に詳しい会員企業の専門家の参加・説明を交えながら進めることとし、次回は 8 月下旬を予定している。

以上

事務局 永尾

## ワーキング風景



説明を行う大久保氏（ジェトロ）



説明を行う勝山国際物流課長（国土交通省）

